

第14回 小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設運営連絡会 会議録（要旨）

開催日時	令和3年11月27日（土）午前10時30分から午前11時30分まで
開催場所	資源物中間処理施設エコプラザスリーハーモニー 2階研修室
出席者	地域住民：グラントメゾン玉川上水センタースクエア管理組合、タカギ第2青梅橋マンション自治会 衛生組合：計画課長、業務課長補佐 事務局：計画課主査
欠席者	地域住民：桜が丘森永住宅自治会、プラウド地区自治会、オーベルグランディオ東大和管理組合
傍聴者	4名
議題	(1) 資源物中間処理施設の操業状況について (2) 意見交換 (3) その他
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第14回運営連絡会次第 ・第14回運営連絡会メモ ・資料1-1 資源物中間処理施設の操業状況について（令和3年4月分） ・資料1-2 資源物中間処理施設の操業状況について（令和3年5月分） ・資料1-3 資源物中間処理施設の操業状況について（令和3年6月分） ・資料1-4 資源物中間処理施設の操業状況について（令和3年7月分） ・資料1-5 資源物中間処理施設の操業状況について（令和3年8月分） ・資料1-6 資源物中間処理施設の操業状況について（令和3年9月分） ・資料1-7 資源物中間処理施設の操業状況について（令和3年10月分） ・資料2 資源物中間処理施設 資源物年間搬入・搬出比較表 ・資料3 測定結果報告書（臭気） ・資料4 測定結果報告書（作業環境）
審議経過	<p>開会</p> <p>第14回運営連絡会の会議の進め方について （計画課長） 第14回運営連絡会の会議の進め方について説明を行った。</p> <p>議題(1) 資源物中間処理施設の操業状況について （業務課長補佐） 第14回運営連絡会メモ等により、説明を行った。</p> <p>（地域住民） 資源物中間処理施設の処理能力に対する現状の搬入実績の割合は何パーセントか。</p> <p>（業務課長補佐） 令和3年1月の会議資料でお示ししたが、令和元年度の実績ではペットボトルが6</p>

4パーセント、容器包装プラスチックが88パーセントである。

(地域住民)

令和2年度の歳出決算額の執行率は何パーセントか。

(計画課長)

当初予算額2億6,896万1千円から不用額等の補正をし、最終予算額を2億5,950万5千円とした。歳出決算額が約2億5,100万円に対する執行率は96.7パーセントである。

(地域住民)

資源物中間処理施設の運営に要した費用は、小平市、東大和市及び武蔵村山市の3市で分担したということか。

(業務課長補佐)

そのとおりである。

(地域住民)

作業環境測定結果において、手選別室の騒音が第2管理区分と判定された。第2管理区分の場合は、作業員が保護具を着用することが推奨されているが、保護具の用意はあるのか。

(業務課長補佐)

作業員によって着用の有無は異なるが、保護具の用意はある。

(地域住民)

ネズミが設備の配線をかじることにより、トラブルに繋がる可能性があるので、駆除対策をきちんと講じられたい。

(業務課長補佐)

他施設でも、配電盤の中に入り込み配線をかじったことにより、火災などに繋がった経過は確認しているため、ネズミ駆除対策に尽力する。

(地域住民)

3市の人口の増減もあると思うが、今後のペットボトル及び容器包装プラスチックの搬入量がどのように推移すると見込んでいるのか。

(業務課長補佐)

資源物中間処理施設建設の際の計画において、今後のペットボトル及び容器包装プラスチックの見込みを試算し、概ね人口については、その見込みどおりの推移となっている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴う外出自粛により、ペットボトル及び容器包装プラスチックの排出量が想定以上に多かったが、今後、国のプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の施行により発生抑制が重視される見込みであり、ペットボトル及び容器包装プラスチックの排出量は減少していくものと考えている。

(地域住民)

街道団地などで住宅を建設しており、ペットボトル及び容器包装プラスチックの排出量は今後、増えていくのではないか。

(計画課長)

3市において、ペットボトル及び容器包装プラスチックの排出量の削減に取り組んでおり、3市の市民に排出削減に向けた取り組みが浸透していくことで、排出量が減少していくものと考えている。

(地域住民)

資源物中間処理施設に搬入されたペットボトル及び容器包装プラスチックの中に異物が混入しているケースがあると思うが、傾向としてはどのような異物が混入しているのか。

(業務課長補佐)

異物については、傾向は変わりがないが、収集作業員に依頼して、家庭から排出されたペットボトル及び容器包装プラスチックが入った半透明の袋を外から見ても異物が混入していることがわかる場合や袋を持った際の重量が重い場合は収集せずに、適正に排出するよう徹底してもらった。それにより、大型のもの、重量のある異物の混入は減ってきている。

(地域住民)

武蔵村山市は家庭ごみの有料化をしていないことから、異物の混入が多いのではないかと。

(業務課長補佐)

展開検査の結果をもとに、武蔵村山市に不適物の混入がないよう依頼した。その後、電池や金属などの不燃系の異物の混入は減少している。

(地域住民)

武蔵村山市の家庭ごみの有料化の実施時期はいつか。

(業務課長補佐)

令和4年10月から予定していると伺っている。

(地域住民)

過去に家庭ごみの有料化等、排出方法に変更があった際には、適正に排出するよう組合から3市にアナウンスをしていただいた経過がある。今回も、時期を見てアナウンスをしていただきたい。

(業務課長補佐)

承知した。

(地域住民)

以前、施設が操業していない状態における臭気がどの程度あるのかを測定できないかを話したところだが、測定のために操業停止させる必要もないので、計画停電の際に臭気測定を実施できないか。測定の結果、臭気漏れを起こしていないことが確認できれば、市民にとって安心につながるのではないかと。

(業務課長補佐)

令和4年度予算に臭気測定の予算を計上するよう調整している。計画停電は例年2月に実施しており、臭気があまりない時期のため、夏場の臭気が出る時期に実施する方向がベターと考えている。今後、内容を含め調整させていただきたい。

議題(2) 意見交換

(計画課長)

全体を通して何か意見交換等はあるか。

(地域住民)

令和3年度の下期を迎えたところだが、今後、大きな設備の点検等の予定はあるのか。

(業務課長補佐)

主に、ネズミ対策、電気設備点検を予定している。また、可燃性残渣のかきならし装置が停止することがあるため、点検を実施する予定である。

(地域住民)

選別機用送風機のボルトの脱落があったようだが、原因は何か。また、当該設備の故障は定期点検対象ではないのか。

(業務課長補佐)

原因は不明である。組合としては設備設計者の不備と考え、無償で修理をさせたところであり、定期点検対象から除かれている訳ではない。

(地域住民)

長期包括的運営委託とはメンテナンスも含むすべてを管理運営するという認識でよいか。

(業務課長補佐)

そのとおりである。

(地域住民)

資源物中間処理施設の見学の受け入れの再開はいつ頃を予定し、どのように周知する予定か。

(業務課長補佐)

運営連絡会構成員については、個別に再開のお知らせをする。一般向けの周知については、組合ホームページにより周知する予定である。

(計画課長)

再開の目途については、現在、資源物中間処理施設は新型コロナウイルス感染症対策のため、研修室や見学スペースを活用し、作業員の休憩場所を分散している。市民生活に欠かせないため、操業を最優先する必要がある、一定の収束がついた段階で再開したいと考えている。

議題(3) その他

(計画課長)

今回の会議の日程であるが、前回の会議の際に年2回の開催で、5月に前年度の決算状況等の報告を、11月に当該年度の上期の操業状況等の報告をすることとした。今年度は新型コロナウイルス感染症対策に伴う緊急事態宣言等もあり、1回目の会議が11月となったが、前回の会議の取り決めどおりに5月に開催することによろしいか。

	<p>(地域住民)</p> <p>組合側で本会議に報告すべき案件がなければ、従前の取り決めどおりでかまわない。</p> <p>(地域住民)</p> <p>施設での事故や市民からの申し入れ等がなければ、5月、11月に固定で定期的 開催いただきたい。</p> <p>(計画課長)</p> <p>それでは、開催するスケジュールを固定化させていただきたいので、第3土曜日に 開催することとし、次回は5月21日午前10時30分に開催することで予定させて いただく。</p> <p>これにて、第14回運営連絡会を閉会する。</p>
--	---